

特殊詐欺被害等の情報（件数・被害額は「速報値」）

特殊詐欺被害等の認知状況（令和6年10月31日現在）

①件数	5件	前年同期比+ - 0件
②被害額	6,144万円	前年同期比+2,652万円
③サギ電話	430件	前年同期比+37件

令和6年10月中に認知した特殊詐欺の手口

手口分類	手口の内容
息子騙り 警察官騙り オレオレその他	<p>(1) 10月下旬頃、被害者方固定電話に息子を騙る男から「オレだけど会社の書類と現金200万円を取引先に送ったけど届いていないみたい」「お金を早くを送らないといけない」と言われ、その後、長男の友人の妹と名乗る女に現金200万円を手渡し、騙し取られたもの。</p> <p>(2) 10月下旬頃、被害者の携帯電話に警察官を騙る男から「大阪で起きた事件の重要参考人になる」「あなたに令状が出ている」「大阪に来て下さい」「大阪にこれないのであれば特例で金融調査を行う」など言われ、被疑者の指定する他人口座に現金100万円を振り込んだもの。</p> <p>(3) 10月下旬頃、被害者方固定電話にNTT職員を騙る男から「あなたの携帯電話が使用できなくなる」「あなたの名前が犯罪に使われている」「持っているお金を調べる必要がある」等と言われ、指定する場所に現金1,900万円を置いたもの。</p>

10月中の街頭犯罪・特殊詐欺にみる傾向と防犯ポイント

① 街頭犯罪

【自転車盗】

10月は、相生交番・草薙交番・桜橋交番で12件と発生件数の半数以上が駅周辺となり、被害自転車のほとんどが無施錠です。（一台のみ施錠あり）被害場所については、一般住宅やアパート・マンションの駐輪場の被害が多発しています。昨年比+31件と急増しています。

【オートバイ盗】

10月中の管内発生は、2件となります。被害場所は、自転車盗被害場所と同様に駅周辺の発生となります。昨年比+9件と増加傾向にあります。

【万引き】

ドラッグストア6件、商業施設等5件、コンビニエンスストア1件、その他商店2件

② 特殊詐欺と投資口マンズ詐欺

【被害状況】

10月の被害は、4件のオレオレ詐欺を認知しました。警察官や検察官、官公庁やNTTなどを騙り、お金を振り込ませる詐欺が多く発生しています。警察官や官公庁などが、電話口で預貯金の金額を確認したり、他人の口座に現金を振り込ませるものは、すべて詐欺とってください。

相手のペースに乗ることなく、一旦電話を切り、自分で警察や官公庁の電話番号を確認してから電話をかけ直してください。この手間で詐欺被害を防ぐことができます。

《電話機対策の推進について》

特殊詐欺の被害防止には、「犯人からの電話を受けないこと」が重要です。詐欺電話をかけてくる被疑者は「留守番電話設定」や「防犯機能付き電話」の場合には、直ぐに電話を切ることが多いです。

NTTでは、70歳以上の家族がいる一般家庭世帯の回線を対象としたナンバーディスプレイ及びナンバーリクエストを無償化する取り組みを継続実施中ですので、この取り組みを利用するよう広報願います。